

12/ 自国の地方行政強化に向けて

12 マリ共和国の方々が沼田町を視察

西アフリカにあるマリ共和国の行政官や首長・議員の方々が、日本地方行政等の制度や実態を学ぶことを目的に、沼田町を視察しました。

JICA（ジャイカ：本部東京都）が主催したこの研修で来町した参加者は、暮らしの安心センター、まちなかほっとタウンなどを見学し、横山町長との懇談で「コンパクトエコタウン構想」などについて話しを聞いていました。

参加者は「沼田町とマリ共和国と共通の課題があってたくさん学ぶことがあり、内容の濃いととても良い研修になりました。」と感想を話されていました。



12/ 全道大会出場

13 ミニバスケット地区大会優勝報告

沼田町と秩父別町、妹背牛町の合同バスケットボール少年団「ソルベルテ MBC」が11月12日（土）13日（日）に行われた第1回北海道ブロック大会地区予選会で優勝し、令和5年1月に開催される全道大会出場を決め、矢野桜誠くん、池川昊輝くん、上野快くん、川嶋皐月くん、川田新之助くんの5名が役場を訪れました。

選手を代表して矢野くんは「1勝でも勝てるように頑張ります」と元気に挨拶し、横山町長は「全道大会に向けて練習に励み、優勝目指して頑張ってください。」と激励しました。



12/ 募金をいただきました

14 ライオンズクラブから歳末募金

沼田ライオンズクラブ（生沼篤司会長）が、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金を町にお持ちいただきました。

生沼会長は「沼田町のために役立てて下さい。」と募金を町長に手渡し、沼田町共同募金委員会（松田剛会長）に引き継がれました。

この募金は、地域福祉の支援に役立てられます。



12 / 落語の世界を知る

16 教育振興授業「林家三平落語会」

専門家による講演や実演を体験し、豊かな情操を育むことを目的に、教育振興授業が12月16日（金）沼田中学校で開催されました。

中学生と保護者を対象に行われた今回の授業は、落語家の林家三平氏を講師に招き、落語のルーツについて勉強しました。

その後、生徒たちは実際に高座に上がり、一緒に麵を食べる仕草を実演したり、小噺という短い話を披露するなど、生徒たちとの掛け合いに会場は笑いに包まれていました。

生徒を代表して生徒会長の野田優心花さん（2年生）は「初めて落語を見て、とても面白かったし、身振り手振りが繊細で、実際に見てみないと分からない発見がたくさんあって良い経験になりました。」と感謝を伝えました。



12 / 雪中米をPR

16 札幌市役所地下食堂雪中米フェア

沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会が札幌市役所地下食堂で雪中米フェアを開催しました。

雪中米フェアでは、12月2日から12月23日までの毎週金曜日に計4回、地下食堂で提供されるお米に雪中米が使用されました。

またトマトケチャップを使用した特製お弁当の販売や、店内での雪中米の販売を行いました。雪中米を食べた食堂の利用者が「お米すごく美味しかったよ」と雪中米をお買い上げ下さいました。



12 / 関係人口創出へ

19 株式会社北加伊道との包括連携協定式

「人をつなぎ、地域の大切なものを残す」を理念にワーケーションや人材のマッチングなどを行っている株式会社北加伊道（本社：札幌市）と12月19日（月）包括連携協定を結びました。

今回の協定では、地域資源を活用したブランド力の向上や、交流、関係人口の創出などを目的に連携することとしており、調印式で横山町長は「子どもたちが誇りに思い、愛着のある町づくりに力を貸して欲しい」と話し、一戸隆毅代表は「地元の方々と同じ目線で盛り上げていきたい」と挨拶されました。

今後は、ASHIMOI KANKO 高穂スキー場の通年活用や沼田町に訪れてもらうイベントなどを企画していく予定です。



12/19 美味しいそばを堪能 雪中そば倶楽部が和風園にそばの提供

町内のそば打ち愛好者で構成されている「沼田雪中そば倶楽部（川邊敏隆会長）」が12月19日（月）和風園の昼食に手打ちそばを提供いただきました。

利用者は、「美味しい！」と喜びながらそばを食べ、あまりの美味しさに1杯では足りず、おかわりする方も多く大好評でした。

川邊会長は「少し早いですが、年越しそばを楽しんでもらいたいと思い企画しました。皆さんに完食していただいたのでとてもうれしいです。次回は、利用者の方に実際にそばを打つところを見て楽しんでもらえればと思います。」と話されていました。



12/20 ありがとうございます JA北いぶき女性部沼田支部からタオル寄贈

JA北いぶき女性部沼田支部の加藤早苗支部長と鷲尾知美副支部長が12月20日（火）役場を訪れ、町内の介護施設へタオルの寄贈いただきました。

54枚ものタオルを寄贈いただき、受け取った横山町長は「介護施設ではタオルを使うことが多いのでとても助かります。大切に使用させていただきます。」と感謝を述べました。



12/20 美味しいお酒になりますように 雪なごり原酒 雪の科学館で貯蔵開始

雪中ブランド酒「雪室熟成純米酒 雪なごり～瑞華～」の熟成が12月20日（火）から始まりました。

今回は4,000リットルを約90日の間、雪の科学館で熟成させる予定です。

今回から酒造好適米を生産している有限会社HJYさくらの山岡禎弘社長は「昨年まで生産していた中田一之さん（市内5）に相談しながら、試行錯誤して作った甲斐もあり、とても良い出来になりました。お酒の出来上がりが楽しみです」と期待を膨らませていました。



12/ 安全な歳末・年始を過ごすために 23歳末特別警戒が始まりました

歳末・年始の交通事故などを未然に防ぐため、町防犯協会沼田支部（石田隆広支部長）による歳末・年始特別警戒が12月23日（金）始まりました。

観光情報プラザでは、夜高パトロール隊の出動式が行われ、石田支部長は「隊員の力を結集して町の安全を守るため、細心の注意を払って頑張りましょう」と話されました。

出動式後の激励会には横山町長、深川警察署沼田警察庁舎の有田敬所長が参加され、「無事に良い新年を迎えられるようパトロールをよろしくお祈りします」と激励の言葉を送り、青色回転灯を付けた隊員がパトカーを先頭に防犯・交通安全街頭啓発パトロールを行いました。



12/ 明日萌駅がクリスマス仕様に 24明日萌駅クリスマスフェスタ

鉄道ショップ、合同会社ぽっぽや（旭川市）が主催する「明日萌駅クリスマスフェスタ」が、12月24日（土）25日（日）明日萌駅で開催されました。

明日萌駅では、特製パッケージのお弁当や銘菓、特産品詰合せセットなどが販売されたほか、駅舎内にクリスマスツリーを設置して、クリスマス仕様に飾り付けし、多くの鉄道ファンで賑わいました。

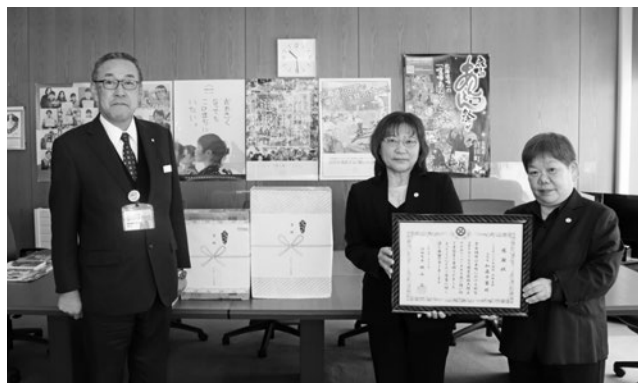
横浜市から来た50代男性は、「数年前にも訪れたことがあったが、廃線が決まってしまったということで来ました。」と話され、留萌本線グッズを購入したり、写真を撮影するなどイベントを楽しんでいました。



1/ JA北いぶき女性部沼田支部から 17感染対策用手袋を寄贈いただきました

JA北いぶき女性部沼田支部の加藤早苗支部長と鷺尾知美副支部長が1月17日（火）役場を訪れ、コロナ禍で困っている児童生徒へ、使い捨て衛生手袋を寄贈いただきました。

小学校に清掃用として100枚入り6箱、中学校には給食配膳用として100枚入り50箱をいただき、受け取った横山町長は「昨年引き続きありがとうございます。感染症予防対策に活用させていただきます。」と述べ、感謝状を贈呈しました。



1 / 子ども達の遊び場に

17 松尾住設が小学校滑り台作成ボランティア

有限会社松尾住設（松尾孝次代表取締役）が1月17日（火）沼田小学校校庭にボランティアで雪の滑り台を作ってくださいました。

小学校の校庭に高く積み上げられた雪山を、大型の重機で綺麗に成形していき、立派な滑り台が完成しました。

中川浩之校長は「毎年、滑り台を作ってください、とても感謝しています。今年もスキー練習や児童の遊び場として活用させていただきます。」と話されていました。



1 / 魅力アップ!

18 ぬまた活性化支援事業補助金を交付

魅力ある住みやすいまちづくりを促進し、地域の活性化を図ることを目的とした「魅力アップ!ぬまた活性化支援事業補助金」を長谷川株式会社（東京都江東区）に交付しました。

沼田町を中心に空き家整理事業や、不動産事業の拠点として不動産取引のコンサルタント業務や観光客が気軽に宿泊することができるゲストハウスの開設を目指します。



1 / 多くの鉄道ファンで賑わい

21 明日萌駅冬フェスタ

鉄道ファンらが期待する「明日萌駅冬フェスタ」（合同会社ぽっぽや主催）が、1月21日（土）22日（日）明日萌駅で開催されました。

晴れ渡った会場の明日萌駅ロケセットには、多くの鉄道ファンが訪れ、留萌本線グッズや観光協会が販売している沼田町の特産品などを買い求めていました。

今回は、明日萌駅のパッケージをあしらったインスタントカップ焼きそばも初めて販売されたため、複数回明日萌駅でのイベントに来場しているお客様も喜ばれ、整理券を配り販売した観光協会特製のお弁当も即完売という人気ぶりでした。

雨竜町から訪れた41歳の男性はビデオカメラを片手に「無くなるのは寂しいですが、少しでも映像を撮っておきたい」と列車が入って来る様子を慎重に撮影していました。

